

YACかわら版 458

火口を巡って

エトナ火山の輪
アイスランドの火口列
西之島...

自然災害の中で火山活動は常に私どもが強い関心を持っていてところですが、その火口の様子におどろくことがあります。本号で紹介する話題は3点です。

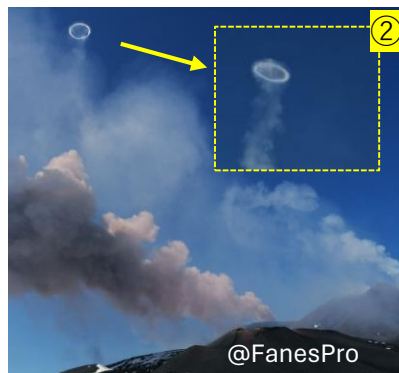
<A エトナ火山の水蒸気リング>

長ぐつのような形のイタリア本土のつま先にある地中海最大の島シチリア島。島で一番高い山が、ヨーロッパ最大の活火山エトナ山です ①
富士山より高い山です。昨年11月の噴火の後、河口近くで高温の溶岩の姿が観測されていますが、4月になって、火口から上空をゆらぐ、水蒸気の輪（リング）が観測されています。②
島根県立しまね海洋館のイルカが、水中で空気の輪をつくる映像の様に、地中海の空を白い輪がのぼっていく姿を見た後、エトナ火山の火口付近の衛星画像をみつめていると不思議な気持ちになります。③④

<B アイスランドの溶岩流 スンドゥヌクル火口列>

YACかわら版でもこれまで、アイスランドのレイキャネス半島の溶岩流にふれています。スンドゥヌクル火口列（かこうれつ 火口が直線状にならんです）という、グリンダヴィークの近くの地面の亀裂（きれつ）の溶岩流出は1か月間以上続いています。⑥
<https://en.vedur.is/about-imo/news/volcanic-unrest-grindavik>
高緯度のグリンダヴィーク周辺は、観測の機会は多くなりますが、センチネル2やランドサット8-9等の光学衛星の観測可能な荒天の機会は多くありませんが魅力的な観測データです。
衛星による観測とは異なり、全天候で利用できる公開されている地上のライブカメラ映像網があります。⑦

<https://livefromiceland.is/>

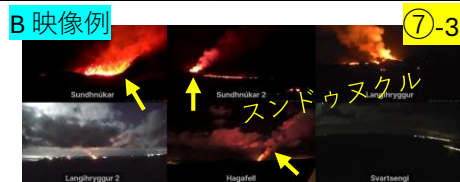


@FanesPro
<https://twitter.com/FanesPro/status/1777747470832767272>

どのような仕組みで空気の輪を作ることができるのか不思議です



©日経サイエンス



Etna エトナ山

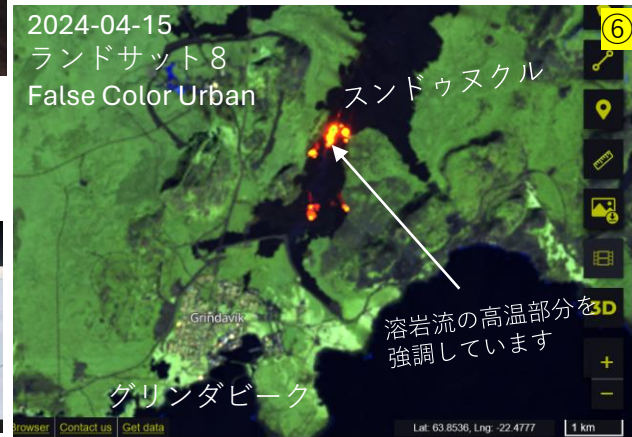
- ・成層火山
- ・最後に確認された噴火：2024年
- ・位置：北緯37.748度 東経14.999度
- ・標高：3357m



<https://volcano.si.edu/volcano.cfm?vn=211060>



<https://www.icelandtours.is/volcano-eruption-update/>



7-2

B 映像例

7-3

<C 日本火山の火口>

現在のライブ映像

例えば4月12日

ライブ映像の位置

「スドゥヌクル」の映像をみましょう。⑦-3の映像例の上段左の2つです。⑧カレンダーの白○の数字が、映像記録があることを示しています。先月分等も確認できます。アイスランドの他の地域のライブカメラでは、アイスランドの多様な風土が観察できます。オーロラをみることもできそうです。

西之島

2024-04-18

ランドサット9

水蒸気

最近西之島の火口からは水蒸気が観測されるようになってきました。海上保安庁のデータベースの最近の火山活動写真は2023年12月15日13:34-13:36が最新情報です。

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kaiikiDB/kaiyo18-2.htm>

2024-04-19

ランドサット9

False Color Urban

桜島

高温部分

2024-04-19

ランドサット9

False Color Urban

阿蘇山

高温部分

4月19日、ランドサット9は阿蘇山周辺と桜島周辺を観測しました。黄砂の影響をあまり受けずに観測できたようです。どちらも火口の高温部分を確認できます。

火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続

火口から約1kmの範囲は立ち入ることができず、火口見学することができません。

火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続

4月19日

ランドサット9

観測計画

4月18日

<https://landsat.usgs.gov/landsat-acq>